



東京産業保健総合支援センター研修案内(平成31年5月～7月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.tokyosjohas.go.jp>

◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日 時	テーマ	講 師	単 位	定 員
5月7日(火) 14:00～16:00	働き方改革と快適職場 生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立し、職場のあり方を見直す動きが高まっています。産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を發揮できる、相当の処遇を受ける、社会的に評価されるとはということなのか考えます。	古山 善一	生涯・更新2	70
5月14日(火) 14:00～16:00	建設現場の職場巡視 建設現場の安全衛生管理は、他職種と大きな違いがいくつかあります。基礎工事から完成までの有限性であること。その間使用する機材、有害物質が多種多様にわたり、労働者への曝露やハザードも様々であること。他職種にはない短期請負制度があること等です。そうしたことを把握した上で、しっかりとしたリスクマネジメントが求められています。「百聞は一見に如かず」です。まずはスライドで現場を「御一見」下さい。	土屋 謙	生涯・専門2	70
5月15日(水) 14:00～16:00	働き方改革と改正労働安全衛生法～産業医・産業保健機能の強化～ 「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律(働き方改革関連法)」は、2018年7月に公布され、2019年4月に施行されました。この法律により、労働基準法をはじめ8本の法律が改正され、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現や雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保などの措置が定められました。労働安全衛生法については、産業医による面接指導、健康相談等の確実な実施や産業医が専門的立場からより一層効果的な活動を行いやすい環境の整備のための改正が行われました。働き方改革関連法の制定の背景や概要、特に改正労働安全衛生法の概要について解説します。	荒川 輝雄	生涯・更新2	70
5月17日(金) 14:00～16:00	産業保健活動 産業医としての業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～ 対象として、産業医業務の基本的事項について解説致します。具体的には、安全衛生計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について具体的な例を示しながら進めたいと思っています。産業医業務の実際についてご経験の少ない方々を歓迎致します。	角田 透	生涯・専門2	70
5月24日(金) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	30
5月28日(火) 14:00～16:00	職場の感染症対策 産業医の業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、結核など特殊な感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場で発生しうる感染症とともに、海外派遣労働者にリスクのある感染症や外国人労働者の感染症についての対策を解説します。	濱田 篤郎	生涯・専門2	70
5月29日(水) 14:00～16:00	職場のメンタルヘルスにおける依存症 人は、気持に余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。	長尾 博司	生涯・専門2	70
5月30日(木) 14:00～16:00	事例検討～産業医としてどう対応するか～ 職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、グループワーク、全体発表を通じて参加者全員で考えていきたいと思います。	内田 和彦	生涯・実地2	40

6月3日(月) 14:00～16:00	働く女性の健康管理 男女雇用機会均等法の施行から33年が経ち、女性のライフスタイルの変化から、女性労働者を取り巻く環境の変化について振り返りたいと思います。ライフコースに沿った女性の健康管理のポイントを整理し、育児休業法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法など女性の就労環境を改善する法律についても解説します。	小島原 典子	生涯・専門2	70
6月4日(火) 14:00～16:00	働き方改革と快適職場 生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立し、職場のあり方を見直す動きが高まっています。産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を発揮できる、相当の処遇を受ける、社会的に評価されるとはということなのか考えます。	古山 善一	生涯・更新2	70
6月13日(木) 14:00～16:00	働き方改革関連法と労働者の健康管理～産業医の役割と産業保健機能の強化～ 4月1日から施行の新労働安全衛生法では、働き方改革の一環として「産業医、産業保健機能の強化」目的とする改正が行われています。今回は、新労働安全衛生法の改正された内容を含め、「産業医の役割及び産業保健機能」に焦点をあてた解説をしたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	70
6月18日(火) 14:00～16:00	健康診断事後措置の具体的事例～ケースカンファレンス～ 健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関るのかの理解を深めることを目的とした研修です。	竹田 透	生涯・実地2	40
6月21日(金) 14:00～16:00	労働安全衛生法の制定と変遷～法令の読み方～ 1972年に労働安全衛生法が制定され、昨年の働き方改革整備法まで様々なその時期のニーズに対応して改正がなされてきました。これらを概観するとともに、読みにくい法令の読み方について解説します。	石井 義脩	生涯・専門2	70
6月28日(金) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	30
7月2日(火) 14:00～16:00	働き方改革と快適職場 生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立し、職場のあり方を見直す動きが高まっています。産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を発揮できる、相当の処遇を受ける、社会的に評価されるとはということなのか考えます。	古山 善一	生涯・更新2	70
7月4日(木) 14:00～16:00	働き方改革関連法と労働者の健康管理～産業医の役割と産業保健機能の強化～ 4月1日から施行の新労働安全衛生法では、働き方改革の一環として「産業医、産業保健機能の強化」目的とする改正が行われています。今回は、新労働安全衛生法の改正された内容を含め、「産業医の役割及び産業保健機能」に焦点をあてた解説をしたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	70
7月9日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑮～心身の状態に関する情報の取扱い～ ストレスチェック制度の施行に伴い、心身の状態に関する情報の取扱いがより煩雑になったと言われています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、心身の状態に関する情報の取扱いの考え方や構造について見ていきます。	弁護士 西園寺 直之	生涯・専門2	70
7月11日(木) 14:00～16:00	職場における睡眠障害 睡眠負債が最近話題になっていますが、職場における睡眠の問題は多種多様です。その原因は個人の生活習慣によるもの、家庭環境によるもの、疾患によるものだけでなく、職場環境によるものもあります。今回は職場における睡眠障害に焦点を絞り、睡眠障害の分類は「睡眠障害の国際分類第3版」に基づき、さらにそれらの対処法を解説します。	山寺 博史	生涯・専門2	70

<p>7月17日(水) 14:00～16:00</p>	<p>働き方改革と改正労働安全衛生法～産業医・産業保健機能の強化～</p> <p>「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律(働き方改革関連法)」は、2018年7月に公布され、2019年4月に施行されました。この法律により、労働基準法をはじめ8本の法律が改正され、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現や雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保などの措置が定められました。労働安全衛生法については、産業医による面接指導、健康相談等の確実な実施や産業医が専門的立場からより一層効果的な活動を行いやすい環境の整備のための改正が行われました。働き方改革関連法の制定の背景や概要、特に改正労働安全衛生法の概要について解説します。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>70</p>
<p>7月25日(木) 14:00～16:00</p>	<p>事業場における治療と職業生活の両立支援</p> <p>がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人事面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行う産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。</p>	<p>内田 和彦</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>70</p>
<p>7月29日(月) 13:30～16:30</p>	<p>作業環境測定方法</p> <p>本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。</p>	<p>市川 英一 岩崎 毅</p>	<p>生涯・実地3</p>	<p>30</p>

◆保健師・看護師研修◆

日時	テーマ	講師	単位	定員
5月8日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～事業場におけるラインケアとセルフケア教育の進め方について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「事業場におけるラインケアとセルフケア教育の進め方」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
5月10日(金) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援に向けて～事例に基づく産業保健チームとしての実践を考える～ メンタルヘルス不調、がん等の支援に向けて メンタルヘルス不調の職場復帰支援を土台に、実践例を基に「治療と職業生活の両立支援」を一緒に考えていきましょう。個人差もありますが、がん等の特徴やそのプロセスを知り、時には両立支援コーディネーターの支援を受けるなど、企業側における支援としてできる事は何か。産業保健スタッフ等の産業保健チームの関わりを考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
5月16日(木) 14:00～16:00	「交流分析入門」健康な心と豊かな人間関係のための心理学 交流分析(TA)は、個人と組織の活性化・心身症の治療に活用される心理学です。人間力を高め職場を活性化させるメンタルヘルスやコミュニケーションについて考え、楽しく学びましょう。全国に3700名の会員を有するNPO法人日本交流分析協会の理事長であり、組織を元気にする研修に定評のある講師が、心の健康と快い人間関係に生かす「交流分析」の基礎を紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	日本交流分析協会 下平久美子	単位なし	30
5月20日(月) 14:00～16:00	見直そう ハラスメント対策 働き方改革の推進には職場の良好な人間関係が不可欠です。その為に職場のハラスメント対策を再考しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎 美奈子	単位なし	30
5月23日(木) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座② 「労働安全衛生法」の中で 労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本講座ではテキストに当センター発行「平成30年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。今回はその2回目で、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等について解説します。なお、「平成30年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
6月5日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
6月6日(木) 14:00～16:00	職場における救急体制 職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	単位なし	20
6月7日(金) 14:00～16:00	事例を通して考える 部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション 援助になるかかわり方のポイントについて、体験的に学べる機会にしたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松島 尚子	単位なし	20
6月10日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のセルフケア～ ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてセルフケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なセルフマネジメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	単位なし	30

6月11日(火)	産業保健と法⑩～心身の状態に関する情報の取扱い～ 14:00～16:00	ストレスチェック制度の施行に伴い、心身の状態に関する情報の取扱いがより煩雑になったと言われています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、心身の状態に関する情報の取扱いについて考え方や構造について見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	単位なし	30
6月12日(水)	働き方改革と改正労働安全衛生法～産業医・産業保健機能の強化～ 14:00～16:00	「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律(働き方改革関連法)」は、2018年7月に公布され、2019年4月に施行されました。この法律により、労働基準法をはじめ8本の法律が改正され、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現や雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保などの措置が定められました。労働安全衛生法については、産業医による面接指導、健康相談等の確実な実施や産業医が専門的立場からより一層効果的な活動を行いやすい環境の整備のための改正が行われました。働き方改革関連法の制定の背景や概要、特に改正労働安全衛生法の概要について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	30
6月14日(金)	ストレスチェック制度の両輪、個人結果と集団分析結果の活用 ～働きやすい職場づくりに向けて～ 本人の気づきとともに職場環境改善へのスタート 14:00～16:00	ストレスチェックを実施して4年目を迎えるいま、お役立ち感はいかがでしょう。皆さん、どんな実感を持たれていますでしょうか。実施義務だから実施するだけでない意味を見出す、集団集計をどう分析し、どうすることがメンタルヘルス不調未然防止、一次予防につながるのか…。働きやすい職場づくりへのハードルとは何か、その対処方法をも一緒に考えてみましょう。また、高ストレス者をそのままにしない方策も考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
6月19日(水)	職場のメンタルヘルス対策とハラスメント対策 14:00～16:00	「職場のいじめ・嫌がらせ」行為は職場の秩序を乱し、労働者の勤労意欲の阻害や生産性の低下をもたらす、さらに労働者のメンタル不調の原因となるなど、様々な影響を及ぼします。ハラスメント対策を中心としたメンタルヘルス対策をポジティブに展開し、企業イメージの向上、社員のモチベーションアップ、離職率の低下、生産性の向上などにつなげられるよう、具体的な対策・防止措置を考えていきたいと思えます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業心理カウンセラー 森井 梢江	単位なし	30
6月25日(火)	労働安全衛生管理基礎講座③ 14:00～16:00	「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本講座ではテキストに当センター発行「平成30年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向も紹介します。今回はその3回目、心と身体健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等について解説します。なお、「平成30年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
6月27日(木)	職域における救命救急措置 14:00～16:00	職場で従業員が心肺停止状態になった場合、いかに速やかに適切な救命救急措置を行うかが大切です。この研修では、職場で人が倒れた場合を想定し、心肺蘇生に関する基礎的な知識を学ぶとともに、人体模型を用いて実際に心肺蘇生法体験を行います。同時に、3D解析ツールにてご自身の心肺蘇生法が適切に機能しているかどうかを測定いたします。また各種AEDの使用法に関する研修も行い、職場で救命救急対応ができる知識とスキルを学んで頂きます。	内田 和彦 日本産業衛生学会 職域救急研究会 南浩一郎、堀川直人他	単位なし	30
7月8日(月)	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会の運用と活性化および管理監督者の関わりについて～ 14:00～16:00	基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「安全衛生委員会の運用と活性化および管理監督者の関わり」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
7月10日(水)	働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から ～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～ 14:00～16:00	働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子	単位なし	20

7月12日(金) 14:00～16:00	精神障害者雇用の現状と課題 2006年の国連総会において障害者の権利に関する条約(障害者権利条約)が採択され、日本でも2014年に批准され、各職場において合理的配慮が求められている。2018年4月から、障害者の法定雇用率は公務員が2.5%、民間が2.2%である。 一方、日本の労働人口は減少し、高齢者雇用、外国人労働者の受け入れ、障害者雇用に頼らざるを得ない現状もある。 そうしたなか、障害者雇用として身体障害者雇用には限界がみえ、精神障害者雇用に対する期待が増大している。しかしながら、精神障害・精神障害者への根強い偏見差別が存在すること、他障害に比して職場側の雇用ノウハウの蓄積が少ないこと、職場定着率が低いこと(半年間続かない)など課題も多い。 研修では、こうした基本認識を踏まえ、精神障害者雇用の今後を探るものである。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	単位なし	30
7月16日(火) 14:00～16:00	産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード&ツール① 産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 「健康経営優良法人認定制度」、「ハラスメント対策関連法案」、「SNSカウンセリング」、「公認心理師」、「労働者の心身情報取扱指針」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。 また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	「こころの耳」事務局 長 石見 忠士	単位なし	30
7月18日(木) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座④ 「労働安全衛生法」の中で 労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本講座ではテキストに当センター発行「平成30年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介いたします。 今回はその4回目で、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)について解説します。 なお、「平成30年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差し上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
7月23日(火) 14:00～16:30	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える 新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(平成31年4月23日)と同内容です。) ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	単位なし	30
7月26日(金) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援に向けて ～事例に基づく産業保健チームとしての実践を考える～ 脳卒中・糖尿病・肝疾患の支援に向けて 生活習慣病と言われる疾病、数値の異常が指摘されても症状がない等のため、なかなか治療への取り組みが遅れがちの現実もあるのではないのでしょうか。 事例を交えて両立支援への実践をご紹介します。ぜひとも思います。 生活習慣病を悪化させない、治療の継続ができる働き方につなげる、その人らしい仕事、やりがいを持てるような職場復帰支援を考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
5月8日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～事業場におけるラインケアとセルフケア教育の進め方について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「事業場におけるラインケアとセルフケア教育の進め方」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
5月10日(金) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援に向けて ～事例に基づく産業保健チームとしての実践を考える～ メンタルヘルス不調、がん等の支援に向けて メンタルヘルス不調の職場復帰支援を土台に、実践例を基に「治療と職業生活の両立支援」を一緒に考えていきましょう。個人差もありますが、がん等の特徴やそのプロセスを知り、時には両立支援コーディネーターの支援を受けるなど、企業側における支援としてできる事は何か。産業保健スタッフ等の産業保健チームの関わりを考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
5月16日(木) 14:00～16:00	「交流分析入門」健康な心と豊かな人間関係のための心理学 交流分析(TA)は、個人と組織の活性化・心身症の治療に活用される心理学です。人間力を高め職場を活性化させるメンタルヘルスやコミュニケーションについて考え、楽しく学びましょう。全国に3700名の会員を有するNPO法人日本交流分析協会の理事長であり、組織を元気にする研修に定評のある講師が、心の健康と快い人間関係に生かす「交流分析」の基礎を紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	日本交流分析協会 下平久美子	40
5月20日(月) 14:00～16:00	見直そう ハラスメント対策 働き方改革の推進には職場の良好な人間関係が不可欠です。その為に職場のハラスメント対策を再考しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎 美奈子	40
5月23日(木) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座② 「労働安全衛生法」の中で 労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本講座ではテキストに当センター発行「平成30年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。今回はその2回目で、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等について解説します。なお、「平成30年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
6月5日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例 ～ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
6月6日(木) 14:00～16:00	職場における救急体制 職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	10
6月7日(金) 14:00～16:00	事例を通して考える 部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション 援助になるかわり方のポイントについて、体験的に学べる機会にしたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松島 尚子	20
6月10日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のセルフケア～ ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてセルフケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なセルフマネジメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	40

6月11日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑩～心身の状態に関する情報の取扱い～ ストレスチェック制度の施行に伴い、心身の状態に関する情報の取扱いがより煩雑になったと言われています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、心身の状態に関する情報の取扱いについて考え方や構造について見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	40
6月12日(水) 14:00～16:00	働き方改革と改正労働安全衛生法～産業医・産業保健機能の強化～ 「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律(働き方改革関連法)」は、2018年7月に公布され、2019年4月に施行されました。この法律により、労働基準法をはじめ8本の法律が改正され、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現や雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保などの措置が定められました。労働安全衛生法については、産業医による面接指導、健康相談等の確実な実施や産業医が専門的立場からより一層効果的な活動を行いやすい環境の整備のための改正が行われました。働き方改革関連法の制定の背景や概要、特に改正労働安全衛生法の概要について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	40
6月14日(金) 14:00～16:00	ストレスチェック制度の両輪、個人結果と集団分析結果の活用 ～働きやすい職場づくりに向けて～ 本人の気づきとともに職場環境改善へのスタート ストレスチェックを実施して4年目を迎えるいま、お役立ち感はいかがでしょうか。皆さん、どんな実感を持たれていますでしょうか。実施義務だから実施するだけでない意味を見出す、集団集計をどう分析し、どうすることがメンタルヘルス不調未然防止、一次予防につながるのか…。働きやすい職場づくりへのハードルとは何か、その対処方法をも一緒に考えてみましょう。また、高ストレス者をそのままにしない方策も考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
6月19日(水) 14:00～16:00	職場のメンタルヘルス対策とハラスメント対策 「職場のいじめ・嫌がらせ」行為は職場の秩序を乱し、労働者の勤労意欲の阻害や生産性の低下をもたらし、さらに労働者のメンタル不調の原因となるなど、様々な影響を及ぼします。ハラスメント対策を中心としたメンタルヘルス対策をポジティブに展開し、企業イメージの向上、社員のモチベーションアップ、離職率の低下、生産性の向上などにつなげられるよう、具体的な対策・防止措置を考えていきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業心理カウンセラー 森井 梢江	40
6月25日(火) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座③ 「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本講座ではテキストに当センター発行「平成30年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。今回はその3回目です。心と身体への健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾患等について解説します。なお、「平成30年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
7月8日(月) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会の運用と活性化および管理監督者の関わりについて～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「安全衛生委員会の運用と活性化および管理監督者の関わり」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
7月10日(水) 14:00～16:00	働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～ 働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子	20

7月12日(金) 14:00～16:00	精神障害者雇用の現状と課題 2006年の国連総会において障害者の権利に関する条約(障害者権利条約)が採択され、日本でも2014年に批准され、各職場において合理的配慮が求められている。2018年4月から、障害者の法定雇用率は公務員が2.5%、民間が2.2%である。一方、日本の労働人口は減少し、高齢者雇用、外国人労働者の受け入れ、障害者雇用に頼らざるを得ない現状もある。そうしたなか、障害者雇用として身体障害者雇用には限界がみえ、精神障害者雇用に対する期待が増大している。しかしながら、精神障害・精神障害者への根強い偏見差別が存在すること、他障害に比して職場側の雇用ノウハウの蓄積が少ないこと、職場定着率が低いこと(半年間続かない)など課題も多い。研修では、こうした基本認識を踏まえ、精神障害者雇用の今後を探るものである。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	40
7月16日(火) 14:00～16:00	産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード&ツール① 産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。「健康経営優良法人認定制度」、「ハラスメント対策関連法案」、「SNSカウンセリング」、「公認心理師」、「労働者の心身情報取扱指針」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	40
7月18日(木) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座④ 「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本講座ではテキストに当センター発行「平成30年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。今回はその4回目で、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)について解説します。なお、「平成30年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差し上げます)。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
7月23日(火) 14:00～16:30	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える 新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。(研修の内容は前回開催(平成31年4月23日)と同内容です。) ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	40
7月26日(金) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援に向けて ～事例に基づく産業保健チームとしての実践を考える～ 脳卒中・糖尿病・肝疾患の支援に向けて 生活習慣病と言われる疾病、数値の異常が指摘されても症状がない等のため、なかなか治療への取り組みが遅れがちの現実もあるのではないのでしょうか。事例を交えて両立支援への実践をご紹介します。生活習慣病を悪化させない、治療の継続ができる働き方につなげる、その人らしい仕事、やりがいを持てるような職場復帰支援を考えていきましょう。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
7月31日(水) 14:00～16:30	がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために ～治療と就労のバランスを支えるヒント～ 今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。	錦戸 典子 佐々木 美奈子 社会保険労務士 本山 恭子	30